



# 米中貿易戦争下の地政学リスク ——新たな日中関係のあり方

2019年7月8日（月）13：15～15：30／ベルサール六本木コンファレンスセンター

---

## <プログラム>

13:15 開会

開会挨拶

13:20～14:40 各登壇者からの発表

発表 1（13:20～13:40）：川島 真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

『今後の日中関係の展望』

発表 2（13:40～14:00）：グレン・S・フクシマ（米国先端政策研究所上級研究員）

『アメリカからみた日中関係』

発表 3（14:00～14:20）：柯 隆（東京財団政策研究所主席研究員）

『チャイナリスクの制度分析』

発表 4（14:20～14:40）：伊藤 さゆり（ニッセイ基礎研究所経済研究部研究理事）

『EUから見た米中対立と日本』

14:40～15:30 ディスカッション

モデレーター：蟹瀬 誠一（明治大学国際日本学部教授、外交政策センター理事）

15:30 閉会

## <登壇者略歴>

敬称略

### 川島 真

#### 東京大学大学院総合文化研究科教授

東京大学総合文化研究科教授。専門はアジア政治外交史、中国外交史。1968年東京都生まれ。1992年東京外国語大学中国語学科卒業。1997年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学後、博士（文学）。北海道大学法学部助教授を経て現職。著書に『中国近代外交の形成』（名古屋大学出版会／2004年）、『近代国家への模索 1894-1925』（岩波新書 シリーズ中国近現代史 2／2010年）など。

### グレン・S・フクシマ 米国先端政策研究所上級研究員

米国の大手法律事務所勤務を経て、米国大統領府通商代表部日本担当部長（1985～88年）、米国通商代表補代理（1988～90年）などを歴任。1990～2012年にはアジアを拠点に欧米の多国籍企業の経営者として活躍し、在日米国商工会議所会頭を2期務める。現在、外交問題評議会委員、アジアソサエティー・グローバルカウンシル委員も務める。著書『日米経済摩擦の政治学』（朝日新聞、1992年）にて第9回大平正芳記念賞受賞。カリフォルニア出身。スタンフォード大学、ハーバード大学大学院、慶應義塾大学、東京大学にて学ぶ。

### 柯 隆

#### 東京財団政策研究所主席研究員

1963年、中華人民共和国・江蘇省南京市生まれ。1988年来日、愛知大学法経学部入学。1992年、同大卒業。1994年、名古屋大学大学院修士課程修了（経済学修士号取得）。長銀総合研究所国際調査部研究員（1998年まで）。1998～2006年、富士通総研経済研究所主任研究員、2006年より同主席研究員を経て、現職。

### 伊藤 さゆり

#### ニッセイ基礎研究所経済研究部研究理事

1987年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本興業銀行（現・みずほ銀行）を経て、2001年、ニッセイ基礎研究所に入社。2017年7月から現職。修士（商学・早稲田大学）。2015年度より早稲田大学大学院商学研究科非常勤講師兼務。日本E U学会理事。主な著書に、「英国のE U離脱とE Uの未来」（日本評論社、2018年、共著）、「E U分裂と世界経済危機 イギリス離脱は何をもたらすのか」（NHK出版新書、2016年、単著）、「E Uは危機を越えられるか 統合と分裂の相克」（NTT出版、共著 2016年、共著）など。

### 蟹瀬 誠一

#### 明治大学国際日本学部教授、外交政策センター理事 ※モデレーター

1974年上智大学文学部新聞学科卒。米国AP通信社記者、フランスAFP通信社記者、米『TIME』誌特派員を経て、91年TBS「報道特集」のキャスターとして日本のテレビ報道界に転身。その後テレビ朝日「スーパーJチャンネル」「スーパーモーニング」などのメインキャスター、文化放送「蟹瀬誠一、ネクスト」のパーソナリティ、「マネーの羅針盤」（テレビ東京）メインキャスターなどを務める。現在は「賢者の選択 FUSION」（日経CNBCなど）メインキャスター、ニュースオペド・コメンテーター。2004年明治大学文学部教授に就任、2008年から2013年まで明治大学国際日本学部初代学部長。現在は同学部専任教授。（社）著書に、『中国の世界戦略がわかる』、『もっと早く受けてみたかった国際政治の授業』、『日本人だけが知らなかった英語上達法』、『男の定年後を死ぬまで幸せに生きる方法』ほか多数。